

釧路市教育委員会 令和2年第3回2月定例会会議録

- 1 日時：令和2年2月18日（火）13時30分から15時30分まで
- 2 会場：釧路市教育委員会室
- 3 出席者
岡部義孝教育長
（教育委員）
山口隆委員、松尾千穂委員、種村俊仁委員、小出美貴子委員
（事務局）
高玉学校教育部長、川畑生涯学習部長、大山教育指導参事、
北澤学校教育部次長、江縁学校教育部次長、藤岡総務課長、
小野施設計画主幹、松本総括指導主事、外崎青少年育成センター所長、
森教育調整主幹、山口給食担当主幹、工藤生涯学習部次長、
澤口生涯学習課長、永井美術館長、佐藤博物館長、
古賀動物園長、牧野阿寒生涯学習課長、伏見音別生涯学習課長
- 4 議事録署名人 松尾委員、種村委員
- 5 傍聴人数 0人
- 6 提出案件

【公開案件】

報告事項

- (1) 「学びを通じた社会参画の推進に関する実証研究事業」の事業実施報告について
- (2) パラリンピック聖火の採火式について
- (3) 学校の現状について

【公開案件】 報告事項

(1) 「学びを通じた社会参画の推進に関する実証研究事業」の事業実施報告について

(澤口生涯学習課長)

本事業は、地域住民との連携により、地域内に在留外国人が溶け込みやすくなるよう、異文化交流や体験学習等を実施する文部科学省の委託事業である。事業実施主体となる実行委員会を昨年10月17日に組織し、第1回実行委員会では、モデル地区を川端睦町内会として選定し、事業の企画・立案を行った。11月15日開催の第2回目の実行委員会では、各地区の町内会や国際交流に関わる関係団体を対象とし、先駆的な団体の活動事例や在留外国人と地域との関わりについての現状や課題などを把握するため、学習会を兼ねて開催したところである。

具体の交流モデル事業では、在留外国人が地域に溶け込みやすくなるよう、そば打ちや書道体験、防災講習や餅つき体験のほか、釧路地域の歴史や自然などをテーマとした学習や交流会を計4回実施した。今後は、実施した交流モデル事業の成果を検証し、課題と方向性をまとめたうえで、他の町内会でも地域の中で孤立しがちな在留外国人と交流が図れるよう、その成果を事例集としてまとめ、連合町内会に加盟している500件の全町内会や国際交流関係団体へ情報提供することを予定している。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(松尾委員)

モデル地域が川端睦町内会となっている、これを選定した理由は何か。

(澤口生涯学習課長)

連合町内会の事務局と相談し、今回は期間が半年間と限られており、現在外国人が住んでいる情報と町内会がこのような交流をし始めたという情報を得たことから、そちらにお願いすることになった。

(松尾委員)

参加した外国人が11名から13名となっているが、これは同じようなメンバーなのか。

(澤口生涯学習課長)

このメンバーは、水産加工場で働いている技能実習生である。この事業に来ている人達はほぼ同じメンバーであるが、ただ途中二人ほど帰国され、二人ほど新規に増えたりと、若干の入れ替わりがあった。

(松尾委員)

3回目の交流の時は、地域住民45名と沢山参加されている。これは、「かるた」「餅つき」をやるという事で沢山来てくださったと理解してよいか。

(澤口生涯学習課長)

その通りである。「かるた」「餅つき」と彼女たちの作ったフィリピン料理を囲み、料理の

作り方などフィリピンの事も学びながら、交流する場を設けていただいた。

【公開案件】 報告事項

(2) パラリンピック聖火の採火式について

(工藤生涯学習部次長)

東京パラリンピック聖火リレーについて、オリンピックの熱気と興奮をつなぐべく、オリンピック終了後の8月13日から25日のパラリンピック開会式までの移行期間に開催される。

聖火は、8月13日から北海道など47都道府県で採火され、大会発祥の地イギリスのストーク・マンデビルの火とともに、8月21日に開催都市東京で行われる集火式で統合され、東京2020パラリンピック聖火となり、翌8月22日からリレーされ、8月25日の開会式に届けられる予定である。北海道では、札幌市においてまだ正式に決定されていないが8月16日か17日どちらかで、道内の採火イベントに参加する自治体からの火が集火され、東京へ向けて出立式が行われる。当市では、札幌市での集火式に合わせて採火を検討しており、採火概要としては、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」の火まつりの炎から採火する計画をアイヌ工芸協同組合様と調整中である。

◎特に意見は、なし。

【公開案件】 報告事項

(3) 学校の現状について

(大山教育指導参事)

1点目は、来年度の教育行政方針についてまだ完成していないが、特に来年度の学校経営に反映させてほしい部分を事前に各学校へお知らせした。

2点目は、釧路市標準学力検査と全国体力・運動の検査の速報値について、詳しくは3月の校長会で説明する予定だが、その概要を各学校にお知らせした。特に来週から、学力向上プランを各学校と協議を行う事になっているので、それに向けての確認事項を含めて説明をさせていただいた。

最後は、新型コロナウイルスについてである。大変心配されるところであるが、現在も各学校ではインフルエンザの予防対策をとっているため、同様に考え予防策をとってほしい、ただ新型肺炎の感染について国や道、市の動きに注視するよう依頼した。大きな動きがあれば各学校に依頼する事になっている。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

最後に説明のあった、新型コロナウイルスの対策について、マスクは予防のための効果はあまりないが、自分は罹っていて菌をばらまかない効果はあると聞いている。自分も人込みに出たりするため必要だが、マスクを買うのに苦慮している。学校は集団生活のためマスクの必要性が高い気がするので、各学校のマスクの状況に関し教育委員会から何らかのサポートがあれば照会してほしい。

(大山教育指導参事)

学校は基本的に、インフルエンザの菌を持っているお子さんが咳をしてうつすのを防ぐためにマスクをしてもらう。その傾向のあるお子さんは病院で受診し、学校に出席しないことになっているので、それ程大きな心配はないと思う。ただマスクについては現在品薄で手に入らないので、特に中学校3年生の受験生の中で、もしマスクがないお子さんがいれば、釧路市に在庫のあるマスクを使ってもらおうという事で、各学校に若干配らせていただいた。